

解説・講座・小特集(←どれかお選びください)

1.[必ずおよみください] 執筆に関するガイドラインです

1. The Guideline on Writing Article of

the Japan Society of Plasma Science and Nuclear Fusion Research

プラズマ太郎, 核融合花子¹⁾[日本語著者名をこちらに「解説」の場合は、著者全員のお名前をこちらにお願いします]
PLASMA Taro and FUSION Hanako¹⁾[英文著者名をこちらに]

日本語所属名をこちらに プラズマ一家,¹⁾銀河系
(原稿受付:20xx年xx月xx日)

要旨:日本語で200字程度。ご共著での「解説」の場合は、代表のかたお一人のみの記載となります。詳しくは、担当編集委員におたずねください。講座および小特集の序章及び最終章については、不要です。なお、このテンプレートは、文章量の目安としてお使いいただくものです(実際の印刷においてこのテンプレートは使用いたしません)。図表は二段組みに貼り込まず、本文とは別ファイルでご用意ください。

Keywords:

plasma, fusion, JSPF, template, guideline ←英語で5~10語程度。原則としてすべて小文字、単数形。こちらも、ご共著での「解説」の場合は、代表のかたお一人のみの記載となります。講座および小特集の序章及び最終章については、不要です。

1. 表題・著者名・所属・要旨・キーワード

1.1 表題について

- 表題は原則として企画提案書の通りにしてください。
- 実際の内容を表すようにご留意ください。
- 英文表題は和文表題を表すようにしてください。

1.2 著者名・所属について

- 日本人の英文表記および外国人著者名は FAMILY First Middle の順(例 FEYNMAN Richard P.)に記入してください。
- 第一著者の所属とメールアドレスをフッターに記載してください。

1.3 要旨について

- 分量は日本語で200字程度です。
- 専門外の読者にもわかり易い文章を心がけてください。

1.4 キーワードについて

- 重要用語を英語で5~10語程度。原則としてすべて小文字、単数形にしてください。
- 略語や固有名詞由来の単語などは大文字を使用してください。(例 MHD、Alfvén wave)

2. 本文

2.1 内容全般について

- 企画提案書(章立て・内容)の主旨に合う内容としてください。

- 編集委員会からのコメントを考慮してください。
- 講座・小特集の場合、他の著者執筆分との整合をとってください(例 用語・単位・記号・重複説明等)

2.2 表記について

- 和文誌という観点から、外来語については不必要なカタカナ語の使用は避けてください。(例 ノンローカル→非局所 / イノベーティブ→革新的な / オポチュニティー→良い機会 / ヴァリディティ→妥当性)

- 日本語として定着していない場合はカッコ内に原語を付記してください。(例 ヴァリディティ(validity))

- 略語を使用する場合、最初の記載は「正式名称(略語)」としてください。

○単位は原則として国際単位系(SI)を使用してください。

2.3 数式について

- 略語は数式中でも Roman、微分・積分記号も Roman です。
- 変数(粒子種 s や座標 x, y) などの添字はイタリックになります。

#イタリック:物理量を表す記号・変数・物理量や番号を表す添字など

#Roman(立体):演算記号[log, ln, sin, ex(p e), lim, d(微分), Re, Im, Tr]・虚数単位[i, j]・元素記号・単位・言葉の意味を表す添字など

- すべての数式に番号を付記してください。

*Latexのスタイルファイルもあります。使用を希望される場合はご連絡ください

2.4 図表・写真について

○学会誌の印刷はモノクロ印刷がデフォルトです。モノクロ印刷でも問題なく判別できるかをご確認ください。

○他論文から引用している場合、**原著論文を引用し、原図の著者および出版者より転載の許可を得てください。**また、ご自身の論文から図面を転載する場合にも、出版者から許可を受ける必要がありますので、ご注意ください。手続き方法は、”図表引用についてのお願い”に掲載しております。ご不明な点は事務局へお問い合わせください。

○カラー印刷の費用は著者ご負担になります(12000円/頁、税別) 希望する場合には事務局までご連絡ください

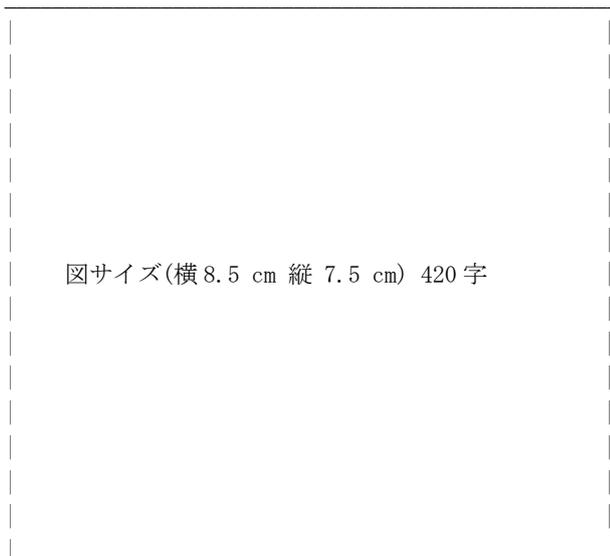


図 1 キャプションは日本語でまとめて別紙に書き、参考文献の次のページにつけてください。

3. ページ数

○小特集：全体で刷り上がり 25 ページ程度。

○解説：原則として刷り上がり 7 ページ以内。

○講座：原則として 1 号あたりの刷り上がり 7 ページ以内。

○原稿は、A4 2 段組(26 文字-52 行の 2 段)、フォントサイズ 9 pt で掲載されます。1 頁当たり **2,700 字**です。企画記事を構成する原稿 1 本に対し、原則 **7 頁以内**(ヘッダー、図表、参考文献 **19,000 字**)です。各原稿の頁数および分量につきましては、執筆いただく記事の掲載頁を企画取纏者と確定した上で、下記換算を参考にいただき、厳守いただけますようお願いいたします。

○図表写真の換算目安

例 1) 横 8.5 cm *7.5 cm (1 カラム内に掲載) 420 字(キャプション別)

例 2) 横 16 cm*5.5 cm (段抜きで掲載) 620 字(キャプション別)

○ヘッダー(企画タイトル、章タイトル、著者、アブスト、Keywords)等の文字換算目安

○解説 タイトル頁：ヘッダー(アブスト 200 字) 1150 字、フッター 160 字

○小特集 タイトル頁(序章、最終章)：ヘッダー(アブスト無)1250 字、フッター 160 字、各章(第 2 章以降)：ヘッダ

ー(アブスト 200 字)1000 字、フッター 160 字

○講座 タイトル頁(序章、最終章)：ヘッダー(アブスト無)1300 字、フッター 160 字、各章(第 2 章以降)：ヘッダー(アブスト 200 字)1000 字、フッター 160 字

テンプレートの段階で頁数を超えないようにしていただくと助かります。規定ページ数超過となる場合はお手数ですが事務局までご相談ください。

4. 原稿提出

4.1 締切日について

○掲載月の 4 か月前の 10 日が締め切り日です。(例 3 月が掲載月の場合、11 月 10 日が締切日)

4.2 提出時のチェックについて

○原稿提出時にチェックシート(checkseat.xlsx)を使って確認をしてください。

4.3 提出後の手続きについて

○提出された原稿は閲読者および編集委員会によって校閲されます。○それらのコメントに応じて修正・再修正が求められる場合がありますので、ご協力をお願いします。

5. 参考文献

○著者名 雑誌名・巻(太字)・ページ・年の順で記述してください。

○著者が 3 名以上の場合は省略し、その際は英文・和文とも第一著者のみ書き、後は"et al."か「他」としてください。

参考文献

[1] T. Fukuyama, Plasma Fusion Res. 18, 1401088 (2023).

掲載が決定している未刊行の論文は“to be published in 誌名, 巻(年)”

[2] 安藤 晃: プラズマ・核融合学会誌 **100**, 1(2024). (Vol.68 までは核融合研究)

[3] 伊藤早苗, 伊藤公孝: プラズマ乱流輸送の基礎 (岩波書店, 2023) .

[4] L. Spitzer, Jr., *Physics of Fully Ionized Gases* (Interscience Publishers, Inc., New York, 1959) p. 20.

[5] J. Luxon *et al.*, Proc. 11th Int. Conf. Plasma Physics and Controlled Nuclear Fusion Research, Kyoto,(1986) Vol. 1, p. 159.